



くりはら 市議会だより

第46号

平成28年2月1日



議会報告会に126人 2

補正 関東・東北
予算 豪雨災害に2億5800万円追加 6

5委員会 先進地に学ぶ 10

一般質問 スポーツパーク構想などに19人 12

「私もひとこと」

佐藤 勇悦さん(一迫)・小野寺知子さん(瀬峰) 22

若柳で行われた「出初め式」
無火災を祈る祝賀放水

スポーツパークに意見集中 議会報告会を開催

議会は、市民から信頼され、開かれた議会を目指し、10月28日から3日間の日程で市内10地区において「議会報告会」を実施しました。

議会報告会では126人の市民が参加し、議会改革・放射性廃棄物の問題・スポーツパーク構想など103件に及ぶ意見や要望がよせられ、議会や市政に対する関心の高さが示されました。

主な内容を掲載します。また、栗原市のホームページでは、議会報告会の報告書をすべて公開しています。

問 市にはお金がないというが、スポーツパーク構想が出てきた。本当はある

予算の審査は 市民の視点で

のではないか。その財源を国保税の引下げなどに充ててほしい。市民の視点に立

問 昨今の農業情勢下において、農業者は今後の農業経営のあり方に不安を抱いている。飼料用米への取

問 農業従事者の高齢化が進行し、担い手不足が深刻な問題である。国は、どのような改革を進めようとしているのか。

問 多収性品種を作付しなれば収益が上がらない。栗つこ農協との意見交換会の中では、飼料用米専用のカントリーエレベーターが

問 国は、担い手に農地を集約しようとしている。農地中間管理事業などの農

問 地方創生に関する特別委員会を設置して提案型の議会になってほしい。

問 以前、陳情を提出し

問 地方創生に関する特別委員会を設置して提案型の議会になってほしい。

問 本市議会における陳情の処理方法は、その写しを配布することとしている。陳情の取扱いは検討したい。

地方創生 議会は提案型に



10月に実施した報告会

問 女川原発の再稼働についてどう考えるか。避難計画は30⁺圏内であるが、その圏外も対象にすべきではないか。

問 空き家が多くなっている。若者定住に向けたリフォーム助成や家財処分費用の助成が必要ではないか。

問 昨今の農業情勢下において、農業者は今後の農業経営のあり方に不安を抱いている。飼料用米への取

問 農業従事者の高齢化が進行し、担い手不足が深刻な問題である。国は、どのような改革を進めようとしているのか。

飼料用米への 取り組み課題は

問 昨今の農業情勢下において、農業者は今後の農業経営のあり方に不安を抱いている。飼料用米への取

問 農業従事者の高齢化が進行し、担い手不足が深刻な問題である。国は、どのような改革を進めようとしているのか。

問 昨今の農業情勢下において、農業者は今後の農業経営のあり方に不安を抱いている。飼料用米への取

問 農業従事者の高齢化が進行し、担い手不足が深刻な問題である。国は、どのような改革を進めようとしているのか。

特集 放射能や



議会に寄せられる市民の声

業改革や農協改革のほか、農業委員会のあり方も見直すとしている。今後はTPPの影響も心配される。

あった。河川改修の要望をするよう市や県に働きかけてほしい。

進行する高齢化 不安な行政サービス

問 インフラ整備は進んでいるが、高齢化が進行する中で、今後の行政サービスに対する不安がある。高齢者の方が冬場だけでも過ごせるような施設を整備するなど、ソフト面にも力を入れてほしい。

答 その実態は認識している。市長のマニフェストに施設入所待機者を半分にするとある。議会も「市民が創るくらしたい栗原」となるよう提言していく。

問 学校再編計画が進められているが、前期計画の再編が本当に良かったのか検証し、後期計画の見直しも含めて委員会でも検討してほしい。

答 意見として受け止める。

指定廃棄物

最終処分場の建設 議会は明確に反対を



市民の間に回答

問 最終処分場建設には、議会としても明確に反対してほしい。議会は反対なのか。

答 議会も建設反対の意見書を国に送付している。栗駒深山嶽は不適地であり、賛成している議員は一人もいない。市町村長会議で再度協議をしてほしい。一方、市内には汚染稲わらが大量にあり、早くなんとかしなければならぬ。

問 市長は、最終処分場の詳細調査について、3候補地同時に行うことが受入れの条件としているが、本市だけでも受入れ、不適地であることを証明してほしいか。また、議会の考え方はどうか。

答 市長は、最終処分場の詳細調査について、3候補地同時に行うことが受入れの条件としているが、本市だけでも受入れ、不適地であることを証明してほしいか。また、議会の考え方はどうか。

スポーツパーク

素案が示されれば 市民にも説明を

地であることから、反対の意見書を提出している。また、本市だけが先行するのは市民の理解を得られない。

問 スポーツパーク構想の素案が議会に示されたら、市民にも分かるようにしっかりと検討し説明してほしい。

答 特別委員会は、スポーツパーク構想の内容、場所、事業費、費用対効果などを調査するために設置したものである。しっかりと調査する。

市の施設を民間管理

3団体の指定管理者が決まる

12月定例会では、一迫の老人福祉センターや築館B&G海洋センター体育館など、市の施設の管理について民間や地域の持つ知識や経験などを活用して、市民サービスの向上を図ることを目的に、市内3団体を指定管理者と決定しました。

また、築館の農村環境改善センター（ふるさとセンター）の一部を市役所として利用するための条例の改正や鷺沢学校給食センターを廃止する条例などを可決しました。



センターの管理には事務員が必要

一迫老人クラブ連合会 2施設の指定管理者に

これまで市が管理していた「一迫老人福祉センター」と「一迫地区活性化センター」の2施設を新たに一迫老人クラブ連合会に管理・運営を任せることにしました。

一迫
老人福祉
センター

期 間 平成28年度から
平成30年度まで
管理料 1603万円
(限度額の見込)

一迫
地区活性化
センター

期 間 平成28年度から
平成30年度まで
管理料 557万円
(限度額の見込)

築館
B&G海洋センター
陸上競技場外5施設

管理者

特定非営利活動法人
栗原市体育協会

期 間 平成28年度から
平成32年度まで
管理料 1億5389万円
(限度額の見込)

志波姫
体育センター

管理者 しわひめスポーツ
クラブ

期 間 平成28年度から
平成32年度まで
管理料 2882万円
(限度額の見込)

議会を
傍聴しませんか

議会の傍聴は簡単です。傍聴の「受付」に住所と氏名を記入するだけで、どなたでも議会を傍聴することができます。

「議会だより」では十分に伝えることができない議案の審議や一般質問など、議論の経過を見ることができま

す。
2月定例会は2月9日から開会の予定ですが、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎(22) 1170



和解

損害賠償2件決定

平成27年8月、栗原市栗駒伝統文化の伝承館（みちのく伝創館）敷地内において、小型乗用芝刈機による草刈作業中、小石を跳ね上げ、市立栗駒病院駐車場に駐車していた車両に損害を与えました。相手方との和解が成立したので損害賠償の額を決定しました。



伝創館の隣には病院の駐車場も

築館農村環境改善センター（通称「ふるさとセンター1」）の2階機能（生活改善研修室および農事研修室）の用途を廃止しました。ふるさとセンターは昭和59年度から昭和60年度にかけて、国の農村総合整備モデル事業の補助金により建設しました。合併後、2階部分を産業経済部の執務室として利用してきましたが、国と協議した結果、今後もし役所の執務室として利用

ふるさとセンター 2階が市の執務室



ふるさとセンター2階の産業経済部

することとなったため、2階部分の生活改善研修室などの用途を廃止しました。なお、1階部分はこれまでどおり使用できます。

表彰

総務大臣から感謝状

平成27年度、総務大臣感謝状の贈呈式において、地方議会議員として、永年地方自治行政に貢献された功績により、佐藤勇議員に総務大臣から感謝状が贈呈されました。



さとう いさみ 議員
佐藤 勇 議員

県知事から表彰

平成27年宮城県「文化の日」の表彰において、多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の擁立と住民福祉の向上に尽力された功績により、濁沼一孝議長並びに五十嵐勇議員が、宮城県知事から表彰されました。



にぎりぬま かずたか 議長
濁沼 一孝 議長



いがらし いさみ 議員
五十嵐 勇 議員

「関東・東北豪雨」で被災 鶯沢学校給食センター廃止

平成27年9月の「関東・東北豪雨」により被害を受けた鶯沢学校給食センター



12月で廃止となった鶯沢学校給食センター

を、平成27年12月末で廃止することにしました。鶯沢学校給食センターでこれまで、まかなっていた配食は、若柳学校給食センターで調理することになります。

関東・東北

補正予算

豪雨災害に2億5800万円追加

一般会計の12月補正予算では、歳入歳出予算からそれぞれ7億2013万円を減額し、総額を511億6624万円としました。

歳入

国庫支出金で社会資本整備総合交付金の内示額の決定に伴う減額や県支出金では平成27年9月関東・東北豪雨による被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の追加、財産収入では不動産売却収入などの追加や寄

歳出

付金の追加をし、財政調整基金などの繰り入れ戻しや市債での減額や追加をしました。
総務費では、合併10周年記念協賛事業謝礼金や鶯沢振興センターの土地購入費などを追加しました。

民生費では、障害者福祉自立支援給付費の利用見込みの増加に伴う扶助費の追加や高清水放課後児童クラブを小学校の校舎内で行うための工事費の追加、関東・東北豪雨で被災した農業用施設・機械の取得又は修繕に要する費用の一部を助成する補助金などを追加しました。

土木費では社会資本整備総合交付金の内示額の決定に伴い、市道改良事業や都市計画道路事業、公営住宅建設事業などを減額しました。
教育費では、瀬峰幼稚園で平成28年4月から給食提供を行うため、給食搬入口の工事費などを追加しました。

災害復旧事業費では、関東・東北豪雨に伴う農業用施設に係る災害復旧経費や、旧鶯沢中学校体育館の災害復旧工事費などを追加しました。

おわびと訂正

11月16日発行のくりはら市議会だより第45号について、P6およびP7の記事に誤った表記がありました。

訂正内容

P6 医療管理課の答の中で「通常の医療局人事での…」とありますが、正しくは「通常の医局人事での…」の誤りでした。

P7 災害対策会議の記事中の総務常任委員会の調査場所に「北二股自動点灯堰」とありますが、正しくは「北二股自動転倒堰」の誤りでした。同じく文教民生常任委員会の調査場所に「南谷内遊水地」とありますが、正しくは「南谷地遊水池」の誤りでした。

以上、おわびして訂正いたします。

主な事業

築館保育所の備品購入費

530万円

新たに建設される築館保育所の備品を購入します。



農林水産施設の災害復旧費

1億4200万円

「平成27年9月関東・東北豪雨」による農業用施設災害復旧費の増額をします。



消防施設の維持管理費

134万円

消火栓および防火水槽などの修繕をします。



旧鶯沢中学校の体育館復旧費

3876万円

「平成27年9月関東・東北豪雨」による旧鶯沢中学校体育館の災害復旧をします。

